平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名　札幌臨床検査センター株式会社　　上場取引所　大 札
コード番号　9776　URL　http://www.saturin.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 細川　武雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 大井　典雄　TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,847	1.2	117	△50.3	127	△50.8	73	△50.1
24年3月期第1四半期	3,801	2.0	236	113.3	259	108.1	147	61.6

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　62百万円　(△56.1%)　24年3月期第1四半期　142百万円　(66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	18.45	―
24年3月期第1四半期	36.97	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,201	4,946	60.3	1,243.08
24年3月期	8,442	4,928	58.4	1,238.40

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　4,946百万円　24年3月期　4,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	11.00	11.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,755	1.8	311	△34.4	316	△37.8	192	△31.1	48.49
通期	15,906	2.4	790	5.1	797	0.7	451	8.6	113.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,216,000 株	24年3月期	4,216,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	236,452 株	24年3月期	236,452 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	3,979,548 株	24年3月期1Q	3,979,548 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。
2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州政府債務危機の不確実性や円高の長期化、電力供給の制約等もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

次に、当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、個人消費や生産活動等に回復の兆しがみられるものの、依然として厳しい状況が続いております。

医療業界におきましては、本年度、診療報酬と介護報酬の同時改定が行われました。また、臨床検査業界の再編や調剤薬局業界のM＆A等により競争が激化するなど、当社を取り巻く経営環境はますます厳しくなってきております。

このような状況の中、当社グループは、医療機関や患者のニーズに応えた積極的な営業活動を展開し、新規顧客の獲得を行うと共に、営業基盤の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高3,847百万円（前年同期比1.2%増）と増収になりましたが、診療報酬改定に関わる薬価のマイナス改定や営業拠点の新設・移転及び調剤薬局の新規出店等に関わる諸経費が先行し、営業利益117百万円（同50.3%減）、経常利益127百万円（同50.8%減）、四半期純利益73百万円（同50.1%減）と減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規顧客の獲得に重点をおいた営業活動により、一定の成果をあげることができましたが、前述のとおり診療報酬の改定、業界の再編による競争激化に加え、新たな設備投資や検査技師の確保などの経費が先行したことにより、売上高1,303百万円（同1.1%減）、セグメント利益38百万円（同65.0%減）と売上高、利益共に前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、４月に店舗の新規出店もあり売上高2,319百万円（同1.7%増）と前年同期比増収になりました。一方、セグメント利益につきましては、薬価の引下げに伴い、売上原価率が上昇したため174百万円（同24.6%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売は前年同期を上回りましたが、利益率の高い消耗品の販売が前年同期を下回ったため、売上高194百万円（同5.0%増）、セグメント損失３百万円（前年同期はセグメント損失１百万円）と増収減益になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高28百万円（前年同期比76.3%増）、セグメント利益16百万円（同102.3%増）と増収増益になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は5,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円減少（前連結会計年度末比3.5%減）いたしました。これは主に商品が201百万円増加しましたが、現金及び預金が470百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,793百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少（同1.7%減）いたしました。これは主に有形固定資産が31百万円及び投資有価証券が11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円減少（同2.9%減）いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は2,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ246百万円減少（同7.8%減）いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が236百万円増加しましたが、短期借入金が322百万円、未払法人税等が165百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は326百万円となり、前連会計年度末に比べ14百万円減少（同4.1%減）いたしました。これは主に長期借入金が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少（同7.4%減）いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は4,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加（同0.4%増）いたしました。これは主に四半期純利益73百万円及び剰余金の配当43百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.3%となり、前連結会計年度末比1.9ポイント増加いたしました。

また、１株当たり純資産は1,243円08銭となり、前連結会計年度末比4円68銭増加いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,889	2,131,294
受取手形及び売掛金	2,487,110	2,546,080
商品及び製品	366,442	568,248
仕掛品	9,302	8,394
原材料及び貯蔵品	30,078	32,914
繰延税金資産	84,049	84,049
その他	55,575	68,673
貸倒引当金	△32,313	△32,096
流動資産合計	5,602,135	5,407,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,772,778	1,774,150
減価償却累計額	△1,093,986	△1,096,779
建物及び構築物（純額）	678,791	677,371
機械装置及び運搬具	39,918	33,238
減価償却累計額	△35,507	△29,789
機械装置及び運搬具（純額）	4,410	3,448
工具、器具及び備品	1,972,099	1,990,136
減価償却累計額	△1,584,660	△1,629,774
工具、器具及び備品（純額）	387,438	360,362
土地	966,733	966,733
リース資産	60,659	70,383
減価償却累計額	△22,442	△25,810
リース資産（純額）	38,217	44,573
建設仮勘定	8,838	－
有形固定資産合計	2,084,430	2,052,489
無形固定資産		
その他	114,894	124,490
無形固定資産合計	114,894	124,490
投資その他の資産		
投資有価証券	113,578	101,922
長期貸付金	28,075	26,708
長期前払費用	27,060	23,449
差入保証金	316,918	308,622
繰延税金資産	109,157	109,010
その他	238,031	237,997
貸倒引当金	△191,549	△191,024
投資その他の資産合計	641,272	616,686
固定資産合計	2,840,597	2,793,666
資産合計	8,442,733	8,201,226

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,159,574	2,395,632
短期借入金	368,396	45,809
リース債務	15,314	17,235
未払法人税等	228,492	62,695
賞与引当金	104,974	58,047
未払金	124,885	121,800
資産除去債務	15,698	－
その他	156,156	226,174
流動負債合計	3,173,492	2,927,395
固定負債		
長期借入金	36,363	26,352
リース債務	28,646	33,075
役員退職慰労引当金	60,274	56,560
退職給付引当金	10,147	10,367
長期未払金	199,465	194,523
その他	6,074	6,074
固定負債合計	340,971	326,952
負債合計	3,514,463	3,254,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	3,040,900	3,070,566
自己株式	△98,502	△98,502
株主資本合計	4,941,017	4,970,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,747	△23,805
その他の包括利益累計額合計	△12,747	△23,805
純資産合計	4,928,270	4,946,878
負債純資産合計	8,442,733	8,201,226

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	3,801,057	3,847,109
売上原価	2,633,758	2,735,737
売上総利益	1,167,299	1,111,371
販売費及び一般管理費	931,134	993,918
営業利益	236,164	117,453
営業外収益		
受取利息	452	436
受取配当金	1,500	1,205
受取賃貸料	16,098	9,508
その他	17,471	10,456
営業外収益合計	35,522	21,606
営業外費用		
支払利息	1,540	769
賃貸収入原価	9,914	10,287
その他	668	409
営業外費用合計	12,123	11,466
経常利益	259,564	127,593
特別利益		
固定資産売却益	－	53
特別利益合計	－	53
特別損失		
固定資産除却損	129	46
投資有価証券売却損	－	13
特別損失合計	129	59
税金等調整前四半期純利益	259,434	127,587
法人税等	112,298	54,146
少数株主損益調整前四半期純利益	147,136	73,441
四半期純利益	147,136	73,441

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	147,136	73,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,936	△11,058
その他の包括利益合計	△4,936	△11,058
四半期包括利益	142,200	62,383
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,200	62,383

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,318,289	2,280,967	185,605	3,784,861	16,195	3,801,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	126,971	126,971	127	127,098
計	1,318,289	2,280,967	312,576	3,911,832	16,323	3,928,155
セグメント利益又は損失（△）	109,739	231,059	△1,109	339,689	8,046	347,736

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	339,689
「その他」の区分の利益	8,046
セグメント間取引消去	2,049
全社費用（注）	△113,620
四半期連結損益計算書の営業利益	236,164

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,303,645	2,319,984	194,923	3,818,553	28,556	3,847,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	131,305	131,305	253	131,558
計	1,303,645	2,319,984	326,228	3,949,858	28,809	3,978,668
セグメント利益又は損失（△）	38,429	174,134	△3,073	209,490	16,279	225,770

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	209,490
「その他」の区分の利益	16,279
セグメント間取引消去	1,961
全社費用（注）	△110,279
四半期連結損益計算書の営業利益	117,453

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。